

<公益財団法人全国法人会総連合会長賞>

変わった税金へのイメージと私の将来像

石川町立石川中学校

3年 佐藤 萌香

どうして税金があるのだろうか。

一番身近に納めているのは消費税だが、何に使われているかはよく分からない。

これが、私の率直な税金のイメージだった。

税金のイメージを変えた衝撃的な出来事が訪れたのはそんな時だった。

弟が突然のケガにより、救急車で病院に運ばれたのだ。

あいにく、弟がケガをした日は週末で休みのところが多く、いろいろな病院に電話している慌てた父の姿を今でも鮮明に覚えている。

困った父は消防署に連絡し、救急車を呼び、救急救命士さん達が一生懸命泣いている弟を励ましながら救急車で病院へ運んでくれた。

その後、弟は事なきを得、今は元気に走り回っている。

ふと、当時の私の心の中を思い出した。

もちろん弟がケガをしたことは一番心配だったが、救急車のお金って、いくらかかるのだろうかと考えていた。30万円くらいかなと・・・。

その時は不謹慎さを感じて聞けなかったが、喉に何かがつかえるような感じがあり、勇気を振り絞って、後になって父に聞いてみた。

私が思っていた父の反応とは真逆で、父は笑いながら、

「無料だよ。救急車はね、税金でまかなわれているんだよ。」と話してくれた。

「えっ、無料？」

「そう、救急車だけじゃなく、今、立っているその道路も毎日通っている学校もいつも安

全を守ってくれる警察も全部無料だよ。」

この父の答えが小学校のときの「租税教室」と繋がった。身近な公共のものは税金でまかなわれているのだと。

改めて、自分なりに税金の使われ方について調べてみた。

公立学校の教育費も税金で負担されており、平成24年度の統計で見ると、小学生は年間約86万3千円、中学生は約99万3千円となっている。

私は今、中学3年生。合計すると、約815万7千円もの税金が私の教育のために使われていたことになる。

ほかにも、東日本大震災などにおける災害復興費や、公共事業費、警察・消防費、社会保障費、そしてゴミ処理費に至るまで様々な社会資本・公共サービスが税金でまかなわれているのだ。

税金の使われ方を調べて分かったことがある。

私はまだ将来の目指すべき仕事を決め兼ねているが、しっかり税金を納めることができる大人にだけはなりたいと思う。

今の私の税金のイメージは、「国民一人ひとりが笑顔で生活をするための会費」だ。